

三原
地区

保護司会だより

第1号

令和2年7月
●発行●
三原地区保護司会
サポートセンター



海山空夢ひらく街三原 (写真提供：藤原敏明 様)

ごあいさつ

会長 藤田 宗広



この度、当会では会員のみならず、関連諸団体の方々に、より一層のご理解を賜る事を目的として、広報紙『三原地区保護司会だより』を発行する事となりました。

広報紙では、当会の活動や行事、各種情報などを広く皆様にお伝えすると共に、より多くの方々からご意見をいただきながら、親しみを感じていただけるような誌面にしたいと考えております。

創刊号は、御覧の通りのささやかな誌面ですが、来年度には一層の充実を図るため「広報部」を新設したいと考えていますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

発行予定回数は、7月号と1月号の年2回を考
えておりますが、今年度はコロナウイルス対策に

て研修会や「社会を明るくする運動」等の関連行事等が中止となり、来年1月発行予定の第2号は掲載記事不足にて休刊せざるを得ないかも知れません。出来れば皆様からのご寄稿やご意見を賜り、何とか発行にこぎつけたいと思いますので、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

さて、古来より姿形の見えぬ脅威は不安を募らせ人心を惑わして来ましたが、今回のウイルス蔓延は「幽霊の正体見たり枯れ尾花」で片付く問題ではありません。

その驚異的な感染力を正しく恐れ、対処することは必要なことと思います。

何とか収束の気配が見えて来ている今日ですが、何卒ご自愛専一にてお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

広島保護観察所 所長 山田 浩 司



三原地区保護司の皆様をはじめ、関係機関団体の皆様におかれましては、平素から更生保護活動に格別の御尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この春の異動により中国地方更生保護委員会から転任してまいりました。伝統ある当地の更生保護の発展のため誠心誠意努めてまいる所存です。どうぞよろしくお願いたします。

平成30年度から令和4年度末までの5年間の期間とする国の「再犯防止推進計画」は、本年度で3年目を迎え、これまで同計画に基づいて実施された各種施策は成果を上げてきており、それに伴い、更生を目指す人々の「居場所」と「出番」も着実に確保されてきております。

三原保護区におかれましては、これまで5つの部会（令和2年度から4部会）において、他機関の講師を招聘しての研修会、矯正施設

視察研修、夏祭り等における“社会を明るくする運動”広報活動、作文・標語コンテスト、校外補導協議会など他機関と協働しての見回り活動、協力雇用主の開拓、更生保護女性会など協力組織との連携、清掃活動をはじめとした地域活動の実施など、様々な工夫に基づく活動を行っていただき、また、地域の拠点となる更生保護サポートセンターも適切に運営していただくなど、安全安心な地域づくりに結び付けていただいております。

皆様御承知のとおり、我が国の更生保護は、国・地方公共団体と保護司・更生保護女性会・協力雇用主・BBS会員をはじめ地域の方々为一体となって取り組んでいる点が大きな特徴の一つですが、再犯を防止し、安全安心な地域を確かなものとするためには、これからも引き続き、多方面のネットワークを確保し、相互に連携していくことが重要です。

皆様方の変わらぬ御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

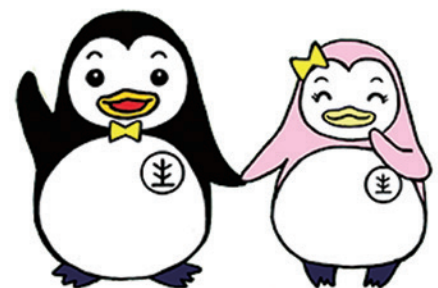
役員体制（令和2年度・令和3年度）

理事・監事

役職名	氏名
会長	藤田 宗 広
副会長（会計）	浅田 勝 彦
副会長（事務局長）	兼光 一 美
副 会 長	代 田 三 委
副会長（庶務）	米 持 清
庶 務	小 島 照 行
事務局次長	平 田 耕 三
研 修 部 長	垣 井 良 孝
研 修 副 部 長	宇 田 治 徳
地 域 活 動 部 長	大 龍 昭 順
地 域 活 動 副 部 長	石 川 弥 生
協 力 組 織 部 長	福 場 俊 浩
協 力 組 織 副 部 長	橋 澤 浩 二
監 事	加 村 博 志
	仁ノ内 一 義
	是 山 宗 憲

ブロック別代表者

ブロック	代表者名	ブロック	代表者名
世 羅	是山 宗憲	三原1	石川 弥生
大 和	福場 俊浩	三原2	浅田 勝彦
久 井	小島 照行	三原3	宇田 治徳
本 郷	加村 博志	三原4	大龍 昭順
		三原5	兼光 一美



本会の天野英雄さんが、令和2年度 春の褒章において藍綬褒章を受章されました。

受章によせて

天野英雄



私は平成9年12月1日に保護司として委嘱を受け、保護観察所諸先輩方にご指導をいただきながらスタートいたしました。

20数年前を振り返ると、当時は暴走族が盛んな頃で、日夜、対象者と関わってきたことを思い出します。まだ新米だった頃で、分からないことばかりでした。対象者に来訪するよう電話連絡してもつながらず、悩んだこともあり、なぜ保護司になったのだと悔やんでいたことを覚えています。

しかし、保護司として何年か活動するうちに、気持ちを楽しんで頑張れるようになりました。今まで皆さんに助けられて努めてきましたが、気が付くと定年間近となりました。

私ははからずもこの度の春の褒章で藍綬褒章の栄に浴することになりました。法務省での受賞及び天皇陛下拝謁も、新型コロナウイルスが猛威を振るっているために中止となりました。関係者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけしました。一日も早く、コロナウイルスの流行が終息するよう祈ります。

保護司としての任期もあと僅かですが、最後まで対象者を信じて更生保護に努める所存です。

退任にあたって

小川 絃二郎



私は昭和39年、東京オリンピックの翌年に教職の世界に入り、中学校で教科指導の他に生徒指導部で常に生徒とかかわってきました。

13歳から15歳までの3年間は人生の中で心身の発達が最も著しい時期で、この3年間の過ごし方で生徒が大きく変わる姿をたくさん見てきました。残念ながら問題行動を起こした生徒が、警察から家庭

裁判所・少年院へと送られていく姿に、その生徒を理解・指導しきれなかった反省と敗北感でいっぱいになることがありました。そんな時に、三原地区保護司会の先輩から保護司になってみてはどうかというお誘いがあり、お引き受けすることになりました。

その後、たくさんの対象者を引き受け、保護観察期間を終了する姿に喜びを感じました。

それから28年5か月、広島保護観察所や三原地区保護司会の仲間の皆様のご指導とご鞭撻をいただき、このたび保護司を卒業することになりました。これもひとえに皆様方のお力添えがあったからと心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

新任保護司の紹介

令和2年6月1日付けで2名の方が会員になりました。これから一緒にがんばりましょう。

(久井ブロック)
藤井 迎朋さん



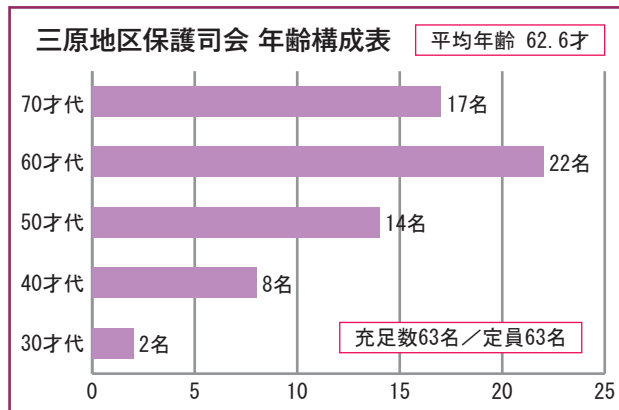
(三原5ブロック)
有田 英子さん



令和2年度 広島保護観察所重点事項

1. 保護司適任者確保の推進

以前から懸念されている保護司の定員割れ及び高年齢化に対処するため、保護司適任者確保に向けて積極的に推し進めることとなっています。お陰様で当地区は6月1日現在、定員63名に対し100%充足してありますが、今後の5年間で10名の方が定年を迎えられます。将来の安定運営の為にも、皆様方からの積極的な推薦をお願いいたします。



2. 地域社会の安心・安全に貢献する更生保護の推進

各地域の行政に対し、再犯防止計画策定を働きかけることとなっています。

当地区会内は三原市、世羅町の2行政ですが、お陰様で両行政ともにご理解を得て、前向きに推進くださっています。本件に対し当会も積極的に協力して参りますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

三原地区サポートセンターの運営状況について

三原地区サポートセンターは、平成30年7月に三原市のご協力により、三原駅から徒歩3分の三原市市民福祉会館4階の1室に開所いたしました。事務スペースと20人弱の会議しかできません

が、福祉会館の中には大小の部屋があり、研修会や総会などにも使えてたいへん便利です。利用可能時間は平日はもちろん土日でも9時から21時まで使用可能です。

サポートセンターの利用状況報告 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

理事会、三役会及び保護司業務等の回数が74回で293名が利用し、その他の来場者を含めた総数は延べ573名でした。入居時に解体計画を見据えての期限付きであったため、インターネット接続ができないことや、移転を見据えて器具備品を最小限に止め、関連団体へのアピールも控えていた結果での573名という来所者数は、驚きの数値でした。

利用内容

- ア 企画調整保護司の定期駐在及び事務局業務
- イ 毎月第1水曜日の理事会及び三役会の随時開催
- ウ 三原地区更生保護女性会・三原地区協力雇用主会等、更生保護関連諸団体が活用
- エ その他



今後の課題

この建物が老朽化にて解体されるため、使用可能期限が令和3年3月末となっています。

現在、移転先を陳情中ですが、アクセスが不便な場所となった場合、関係者の来館が困難になるおそれがあります。この1年間の利用状況から、もっと稼働が増すと考えてますので、誠心誠意行政へのお願いをしていきたいと思っております。



松江刑務所 視察研修報告

研修部長 垣井良孝

1 日時 令和元年10月11日(金)

13:30 ~ 15:30

2 出席者 24人

3 視察研修内容

松江市にある松江刑務所は、26歳以上10年未満の犯罪傾向が進んだ者を収容する刑事施設で、市街から比較的近い場所にあり、周りには色々な施設が立ち並んでいました。

はじめに会議室で2017年度に作成されたDVDを視聴し、刑務所の歴史や服役生活の概要説明を受けた後、携帯電話や煙草などの持ち込み禁止物を会議室に置いて、堅牢な二重のドアを抜け、刑務官より各施設の説明を受けながら回りました。

農機具部品を扱う作業場での作業状況見学、日々の生活をする6人部屋の居室では、空いている部屋の中まで入室させて頂きました。数少ない1人部屋は処遇を決めるための部屋だそうです。

共同部屋への割り振りは所長の決定事項で、トラブル等があれば変更もあるなど懇切丁寧な説明を受けた後、会議室に戻り質疑となりました。

現在の収容人員は530人弱で平均年齢は49.3才、最高齢者は82才、最年少者は24才で、罪別では1番が覚醒剤で40%、2番目は窃盗とのことでした。

出所時に仕事は決まっているかの問いでは、平



10月11日 松江刑務所視察研修

成29年が4件、平成30・31年は各8件と数少なく、出所者の就労が難しいことが伺われました。

最後に刑務所作業製品の即売会があり、私は松江刑務所の製品「印伝調合皮の小物入れ」や、知名度の高い函館刑務所の「マル獄シリーズのブックカバー」などを購入しました。

今回の視察で、出所後の就労問題、高齢化に伴う処遇問題等を間近で接することが出来ました。帰途のバス内における講評では、「本日の研修は有意義であった。」「今後の保護司活動に活かされる研修であった。」などの意見が出されました。

来年の視察研修には、より多くの方の参加をお願いします。



人気の函館刑務所のマル獄シリーズ「ブックカバー」。帆布製で丈夫で、デザインも良く、しおり紐も付いており、裏布もおしゃれで気に入っています。



松江刑務所の「印伝調合皮の小物入れ」

昨年度の活動をふりかえって

■ 平成31年4月24日 市民福祉会館4階会議室に於いて第1回研修会・総会を開催



■ 5月20日 三原サン・シープラザにて更生保護女性会三原地区の会へ2名参加



■ 7月6日 三原市中央公民館に於いて第69回社会を明るくする運動三原大会を開催



■ 11月12日 広島国際会議場に於いて更生保護制度施行70周年記念広島大会に参加



■ 11月27日 三原国際ホテルに於いて三原地区更生保護顕彰式および社会を明るくする運動作文・標語表彰式を開催

■ 8月10日 やつさ祭り街頭パトロールを実施

編集後記

今年度の新しい役員体制が決まり、会長のリーダーシップのもと、役員一同は張りきって任期2年のスタートを切りました。三原地区保護司会の長年の課題であった会報を、ようやく発行することができたへん喜んでます。急なお願いにもかかわらず記事をお寄せくださった皆様に心より感謝いたします。

■ お問い合わせ先

三原地区保護司会 事務局
〒723-0141
三原市沼田東町兩名296-1
サポートセンター
三原市市民福祉会館 4階
TEL 0848-62-5515